

テキサス A&M 大学サンアントニオ校学長 シンシア・マトソン学長が当研究所を訪問

国土交通省 国土交通政策研究所

国際交流基金日米センターの日米知識人交流事業で来日されたテキサス A&M 大学サンアントニオ校のシンシア・マトソン学長が、1月21日（火）午後に国土交通政策研究所の佐々木所長を訪問されました。

所長から、国土交通省の概要、（1）防災・減災、（2）安心・安全な移動環境の整備、（3）持続可能な地域社会と経済成長の実現、（4）観光による地方創生の4つの取組についての説明後、2月6日（木）にテキサス州オースティンで開催される「第3回日米インフラフォーラム」へのご出席をお願いしました。

マトソン学長から、「同校はトヨタと自動運転のためのサイバーセキュリティの共同研究を行っているなど日本との絆が深く、国土交通省が力を入れている物流、スマートシティ等に関連する講座も充実しており、喜んで日米インフラフォーラムに参加する。」とのお話がありました。

最後にマトソン学長と所長は、両者の連携は大変意義あるものであり、力強く進めていくことを確認しました。

○記念撮影

